

鯖江市議会報

第233号

令和2年5月25日発行

- 【特集】新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出 2
- 一般質問 7
- 表紙写真の選考について 14

撮影場所：西山公園
写真提供：永田 司 さん



特集

新型コロナウイルス感染症対策に関する 要望書を提出しました。

新型コロナウイルス感染症が急速に拡大する中、鯖江市内においても感染者が発生するなど、感染拡大への不安が高まっています。

市においても、迅速かつ的確な対策を講じられているところですが、対策の強化等が急務であると考え、4月15日、下記の事項について、強く要望しました。

1 迅速な情報提供

市民の間で無用な混乱や誤解が生じないように、県と連携して必要な情報を速やかに提供すること。

2 プライバシー等への配慮

感染者とその家族、濃厚接触者のプライバシーに配慮するとともに、精神的ケアに努めること。

3 相談支援体制の強化

新型コロナウイルスにより多大な影響を受けている市内事業者に対する支援対策として、国・県の制度活用を含めた経営相談に対応できる窓口の設置など、相談支援体制を充実させること。

4 市独自の支援制度の創設

国および県の各種支援制度の十分な活用を前提にしつつ、時間的、制度的に不十分なものについては、別途、市独自の支援措置を講ずること。

5 安全安心な教育・保育環境の確保

市内小中学校、幼稚園、こども園、保育所の児童・生徒等の精神的ケアに努めるとともに、学校等の再開に当たっては、安全安心の確保に最大限配慮すること。

6 高齢者への感染予防対策強化

高齢者は重症化リスクが高いことを踏まえ、市内の介護施設や医療施設等における感染予防対策について必要な支援を行うこと。

7 万全の予算措置

新型コロナウイルス感染症対策を実施するための必要かつ十分な予算措置を速やかに講ずること。



3月定例会のポイント!!

※今号は、3月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。

【会 期】 2月17日～3月13日(26日間)

【議決内容】
 ・市提出議案28件を可決
 ・請願1件を趣旨採択
 ・陳情1件を趣旨採択
 ・人事案件3件に同意
 ・市会案2件を可決

可決

『過去最大の予算規模』

【議案第1号】令和2年度鯖江市一般会計予算・・・〈p3～5〉

「世界のめがねの聖地SABA E」の確立に向けて、「女性活躍」・「環境」・「国土強靱化」・「ソサエティ5.0社会」に関する事業をはじめ、子育てや教育環境の整備、施設の長寿命化など様々な事業に取り組むことから、過去最高の規模となる積極的な予算編成となった。(市長所信演説から抜粋)

趣旨採択

『40年 稼働する原発は』

【請願第5号】老朽原発稼働に関する請願 〈p3〉

可決

『手話は言語である』

【議案第14号】手話言語条例の制定について 〈p5〉

可決

『新幹線開業後の福井の交通を守る』

【市会案第2号】北陸新幹線福井・敦賀開業後の特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書について〈p6〉

趣旨採択

【陳情第1号】特急「サンダーバード」「しらさぎ」存続のための協議を県に求める陳情 〈p6〉

総務委員会

議案第1号 新年度一般会計予算の審査

可決

老朽危険空き家の解体は？

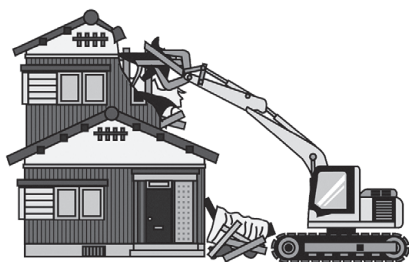
問 老朽危険空き家等除却支援事業による補助金を支給されても、大部分の自費による部分を用意できないため、解体することができないでいると思われる。

そこで、不動産業者が仲介して、土地の処分により解体費用を捻出できるような仕組みがあれば、危険空き家の解体が進んでいくと思われるが。

答 市として土地の売買等に立ち入ることはできないが、さばえ空き家・空き地管理協会や町守ネットワークなど関係団体と連携協定を締結しているため、新規事業である「空き家コンシェルジュ事業」において、専門的知識のある有資格者の方々による相談会を実施して対応していきたい。

問 空きビルは、この事業の対象になるのか。

答 現在は対象に含んでいない。しかし、今後、防犯・防災上、課題になってくるのは間違いないと思われるため、何らかの仕組みを研究・検討していきたい。



公用車のリース方式導入は？

問 リース方式は、購入した場合に比べ保険料など削減される費用もあり、費用対効果の面でも優れていると思われるが、導入は。

答 一般会計において92台の公用車を管理しており、毎年、数台の入れ替えが発生しているため、リース方式の有効性について研究していく。



会計年度任用職員制度導入で人件費は？

問 会計年度任用職員制度導入に当たり、その影響額を令和元年度と比較すると、1億5千万円余の増額となるとのことであり、また、5か年の収支見通しの中で、5年後には合計で2億円弱の増額と示されている。会計年度任用職員の人件費は今後、増加し続けていくのか。

答 今後5年間は、2千万円前後の増額で推移していくものと見込まれるが、人員の増減や昇給の幅なども影響し、未知数の部分が多い。

請願第5号 老朽原発稼働に関する請願（運転反対）

趣旨採択

採択意見

原子力規制委員会が20年の延長運転を認可したが、原子力発電所は老朽化すればするほど危険性は増す。やはり40年を経過した原子力発電所を稼働させることは反対。

趣旨採択意見

原子力発電を減らしていき、最終的に無くしていくことは必要。一方、請願要旨の「老朽原発の危険性について説明会を開くこと等」について、UPZ区域から外れている鯖江市としては疑問。

継続審査意見

事業者である関西電力において、現在調査中ではあるが不明朗な問題が出ているので、その結論を見てから判断したい。

産業建設委員会

議案第1号 新年度一般会計予算の審査

可決

さばえ菜花米のブランド化支援は？

問 菜花米生産の現状と、今後の支援策は。

答 平成30年の豪雪の影響で菜花が生育せず、菜花米の認定ができなかった。また、平成29年のいちほまれ生産開始により、今後県と市のブランド米政策のすり合わせが必要になる。

米の需要量が減少しており、良いものを作っても、競争が激しく高く売れないという社会的な事情もあるが、継続して米の品質向上を支援することで、引き続き、鯖江米のブランド化に取り組んでいきたい。



田んぼダムの整備予定は？

問 令和2年度は1,500万円が計上されているが、令和3年度以降の整備予定について、どのような計画になっているか。

答 令和3年度以降の具体的な整備箇所は、まだ決定していないが、令和2年度分の工事が完了すると、整備面積は市全体の約66%に達する見込みであり、今後も整備を継続し、最終的には、鯖江市の全圃場約2,000haを田んぼダムとして整備したい。

除雪車両の補償は？

問 民間事業者が所有している除雪車両を、市が借り上げる場合があるが、今年のように降雪がなかった場合、除雪車両の補償はされるのか。

答 道路除雪の委託契約には、市が車両を貸し出す契約と、民間事業者の車両を市が借り上げる契約の2種類がある。車両を維持するための保険料、税金、格納費用、償却費といったものを、基準に従い算定し、除雪の出動の有無にかかわらず、支払っている。

市内 民間事業者を支援する補助金制度は？

問 補助金の対象を、医療、ウェアラブル端末などの分野に絞った補助金制度を、ここ数年継続しているようだが、対象となる民間事業者が限られてしまうのではないか。

答 民間事業者が新しい分野に進出し、事業が軌道に乗るには、1年や2年といった短い期間では足りないと考えている。

ようやく芽が出始めた事業もあり、その事業が成功することで、一つの民間事業者だけでなく、市内の他の協力民間事業者にも広がり、産地全体の振興につながると判断し、事業を継続している。

問 産地内の同じ業種の企業のつながりは、どうしても下請けなどの縦の関係になりやすい。異業種であっても良いが、対等な関係のチームを作るような仕組みを構築できないか。

答 これまでに機械要素技術展への出展を3回助成対象としているが、これらの事業は、複数の企業が対等な関係で連携し、新製品の開発を行った事例であり、今後、このような取組が増えることを期待している。



教育民生委員会

議案第1号 新年度一般会計予算の審査

可決

独居高齢者の緊急通報サービスは？

問 65歳以上の独居高齢者が申請できる緊急通報装置について、近年、軽微な通報や誤報が増えていることから、通報の第一報を消防署から民間会社へ移行するとのことだが、変更による利用者サービスの向上点は何か。

答 消防署への通報等を含めて通報内容に応じ、幅広く対応されるとともに、下記の3点が向上点として挙げられる。

- ①月1回の安否確認サービス
- ②看護師へと繋がる相談サービス
- ③本体電池交換等のメンテナンスが不要

不登校児童への支援は？

問 チャイルドセンターにどうしても行けないお子さんへの対応は。

答 従来、スクールソーシャルワーカーしか行えなかった家庭訪問を、令和2年度からの新規事業により、チャイルドセンターの相談員も行えるようになる。お子さんの状況把握や保護者との連携を行っていく。



文化の館の全館休館は？

問 9月より2ヶ月間全館を休館、一部を11月まで休館とし、空調設備の改修と児童閲覧室の天井改修を行うということだが、ランニングコストについては。

答 従来、灯油によるボイラー炊きであったものを、電気の熱源に変更することにより、燃料費、機器メンテナンス費等を抑制でき、年400万円の削減予定である。



委員会からの申入れ

2020東京オリンピック (体操) 事前合宿事業について

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月25日からの中国選手団の合宿招致は難しいと言わざるを得ない。

市民の安心・安全を第一に考慮し、今回の招致は中止すべきであることを、教育民生委員会として、理事者側に強く申し入れを行った。

議案第14号 手話言語条例制定の審査

可決

手話の社会への浸透策は

問 「手話は言語である」ことについて、市民への理解・普及への具体策はどのようなものか。また、市職員への研修や環境整備の対応は。



答 手話通訳者を派遣する事業の派遣回数を増やしたい。「広報さばえ」で特集を組み、手話パンフレットの作成や出前講座を実施するなど、市民への理解を広めたい。社会福祉課の窓口には、遠隔手話通訳可能なタブレットを導入する予定である。市職員へは、新年度から研修を十分に行っていく。

陳情の審査、意見書の提出

陳情第1号 特急「サンダーバード」「しらさぎ」 存続のための協議を県に求める陳情

趣旨
採択



採 択 意 見

本市議会では、平成27年12月に特急存続を求める意見書を提出したが、それから4年が経過しており、今の情勢を踏まえ、議会として意見書を改めて提出すべきである。
また、本市および本市議会は、県やJRに対し特急存続を求める要望を行っているが、県は年内を目途に特急存続についての結論を出したいと示しており、今現在の本市の立場を改めて明確に示すべきである。

趣旨採択意見

既に県はJRに対し協議を行っており、改めて意見書を提出する必要性はあるのか。特急存続についての協議を求める陳情の趣旨には、ある程度は理解できるので、趣旨採択とすべきである。

この陳情の審査経過において、審査結果にかかわらず、市議会として特急存続を求める意見書を出すべき、との複数の意見があったことから、審議を行った結果、本委員会として、国および県に対し、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書を作成し提出することで、委員全員の意見の一致を見た。

市会案第2号 北陸新幹線福井・敦賀開業後の 特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書について

可決

北陸新幹線福井・敦賀間については、3年後の令和5年春の開業に向けて整備が進められている。

そのような中、国土交通省は、大阪・富山間を直通運転する予定であったフリーゲージトレインの導入を断念する方針を明らかにしており、このままでは、関西圏からの特急「サンダーバード」の利用者も敦賀駅での乗り換えが生じることにより、利便性の大きな低下は避けられない状況である。

このため、住民からは関西圏への利便性を確保するため、大阪までフル規格で開業するまでの間、福井駅までの特急「サンダーバード」の運行存続を求める声がこれまで以上に高まっている。

併せて、敦賀開業後の中京圏への利便性を確保するため、特急「しらさぎ」の運行存続を求める意見も多く寄せられている。

これらの乗り換えの負担が長く続くことになると、市民の関西や中京圏への移動はもとより、これら地域とのつながりが強く、観光やビジネスでの交流人口も多い鯖江市にとって、その影響は計り知れないものと危惧している。

これまで、鉄道利用者の負担軽減、市民の利便性の確保のために、鯖江市、市民、経済界、そして鯖江市議会も一丸となって、この特急存続の実現を要望し、切望してきたところであるが、福井・敦賀開業まで3年と迫った今、改めて、次のことを強く要望する。

記

- 1 特急「サンダーバード」については、フリーゲージトレインの導入を断念したことを踏まえ、その代替案として関西圏への利便性を確保するため、大阪までフル規格で開業するまでの間、国の責任において、その必要な財源措置も含めて、福井駅まで特急を引き続き運行させること。
また、県においては、国やJRに対して強く要請すること。
- 2 特急「しらさぎ」については、中京圏との利便性を確保するため、福井駅を乗換え拠点と位置づけ引き続き運行させること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年3月13日

福井県鯖江市議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、福井県知事

ここが聞きたい！

一般質問



一般質問とは…

市のさまざまな課題等について、議員が市の考えを聞くものです。

議員は、政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



13人の議員が一般質問を行いました。		P9	空 美英 議員 1 動物愛護の観点から 2 空き家対策について ほか
P7	福原 敏弘 議員 1 一般財源について 2 並行在来線直流化について ほか	P10	遠藤 隆 議員 1 地域包括ケアシステムの推進について 2 小・中学校における 新型インフルエンザ対策について
P8	江端 一高 議員 1 森林政策について 2 つつじマラソンについて ほか		佐々木 一弥 議員 1 環境にやさしいまちづくりについて 2 災害に強いまちづくりについて ほか
	帰山 明朗 議員 1 新型コロナウイルス (COVID-19) について 2 鯖江市手話言語条例 (案) について ほか		奥村 義則 議員 1 SDG s の推進について 2 子ども医療費における ジェネリック医薬品の推進を ほか
P9	大門 嘉和 議員 1 第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合 戦略に関して	P11	木村 愛子 議員 1 「生涯元気で生涯青春のまち」について 2 「環境にやさしいまちづくり」について ほか
	林下 豊彦 議員 1 若くて元気なまちの創造について 2 若者が住みたくなるまちの創造について ほか		菅原 義信 議員 1 市職員400人体制の堅持で大丈夫なのか 2 SDG s 推進に当たって
	丹尾 廣樹 議員 1 北陸新幹線に対する期待について 2 災害に強いまちづくりについて		林 太樹 議員 1 産業政策について 2 空き家対策について



福政会
福原
敏弘
議員

「並行在来線の直流化について」

問 鉄道の直流化を進め、敦賀駅以降も乗換え不要で新快速が乗り入れる案について、市としての考えは。

答 特急存続の代案としての福井駅までの直流化については、滋賀県側の理解を得ることが大変難しいことやJR貨物から受ける線路使用料が減少し、並行在来線の経営に影響するなど問題が山積している。

問 50年、100年後を見据えた市としての見解は。

答 市長 現在の特急をどれだけ存続できるか、存続が不可能となれば次善の策として、福井側の直流化や、現在の車両編成の中での新快速の運行も議論が必要になる。例えば、交直流併用車両で、関西・中京と連携ができれば、三セクとしても売上げ増は十分期待できる。県も特急を存続できない場合の次善策として、直流化も含め検討しており、場合によっては市として要望していくべきものと考えている。



敦賀駅イメージ図
(鉄道・運輸機構より参照)



市政同志会
江端 一高 議員

「森林政策について」

答 新たな森林管理システムの導入に向け、森林環境譲与税を活用した事業を展開していきたい。森林経営管理法に基づく事業以外にも、山際の森林整備や木材利用促進を図るとともに、獣害対策にも寄与する市独自の事業も検討していきたい。

「つつじマラソンで地元食材のおもてなしをするべき」

答 給水の内容の充実、給食については、実施をした場合、どのようなものを提供するか、提供の方法、衛生管理面も含めて研究、検討を進めたい。

「違法薬物使用防止の教育について」

答 各小学校では学校の要請に基づき、鯖江警察署の生活安全課から講師に来ていただき「ひまわり教室」という薬物使用防止教室を開いている。

保護者への周知については保護者会で大勢集まったときに薬物使用防止のチラシを配付して理解を求めることから始めるなど、今後研究していきたい。



市政同志会
帰山 明朗 議員

「新型コロナウイルス感染拡大防止と効果的な緊急経済対策を求む」

問 市の経済への影響と今後の対応は。

答市長 とりあえず既存制度での補償料増額の約1億円規模の緊急経済対策を実施。これから雇用、下請、金融返済緩和などの調整も出るが、国・県の動向を見て救えないものを本市としてどうするかが大きな課題。鯖江市独自の制度もこれから十分考える。

問 4月に市内で開催予定の中国体操チーム事前合宿は、感染予防・拡大防止を最優先に中止すべきだ。

答市長 既に中国体操協会へは日本の現状、宿泊・合宿での衛生管理・環境整備面の非常に厳しい状況を伝え、事前合宿中止を含め検討している状況も報告した。中止も含めた方向性も出さざるを得ないと思う。



その他の質問

○鯖江市手話言語条例の取組推進を
○観光推進については、いわゆる稼いでいく観光も視点に置くべき



市民創世会
大門 嘉和 議員

「第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(Uターン促進施策)」

問 政府は第2期総合戦略の基本方針の中で高校でのふるさと教育に力を入れている。しかし、小中学校でのふるさと教育も更に重要ではないか。

小中学校での取組の現状とこれからの取組は。

答教育長 鯖江市学校教育基本方針に、ふるさと学習を通じた郷土を愛する心の育成を重点施策として位置づけている。小学校では社会科の現場学習、地場産業体験学習により、児童が主体的に地域の文化や産業、

歴史などに関わる活動に取り組んでいる。

中学校では従来から地元企業と連携し、プロのデザイナーから眼鏡を題材としたデザイン実習を行う産業教育支援事業、眼鏡など地元産業の職場体験活動、さばえものづくり博覧会への参加などを通して地場産業の理解に努める教育に取り組んでいる。

今後も郷土に対する誇りと愛着を育てていく。





清風会
林下 豊彦 議員

「若くて元気なまちの創造について」

問 保育環境改善策の実施による今後の見通しは？

答 保育士の確保と保育現場への定着を図ることで、より一層保護者の皆さんが安心して預けられる保育所、幼稚園、こども園づくりに努めていく。

意見 市民の皆さんがこれからも安心していただける、そういう保育環境をぜひとも維持続けてほしい。

「若者が住みたくなるまちの創造について」

問 市庁舎内で外国籍の外国語のお客様へはどのような対応なのか？

答 各部に1人は外国語が堪能な職員が在籍し、来客に対応している他、外国人からの電話を転送したりしている。



意見 今後、多言語を話せる人材の登用や育成についても考えていく必要がある。



市民創世会
丹尾 廣樹 議員

「北陸新幹線に対する期待について」

問 県内延伸は3年後。現在、特急存続ばかりに目が向けられており、市は経済効果や誘客対策をどう考えているのか。

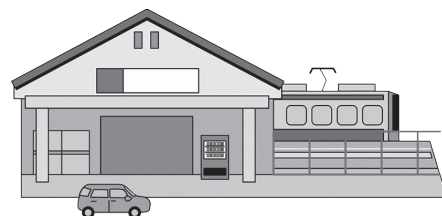
答 首都圏に加え関西圏などとの交流人口が大きく増加し、経済波及効果も大きい。敦賀開業後のアクセス向上を契機に積極的な産業振興、商業振興の取組で持続可能な成長を目指していきたい。

問 新幹線効果の上では、駅のない本市は不利。並行在来線対策をどう考えるか。

答 並行在来線経営計画の中で、快速列車の運行および既存駅のモデルチェンジなどが検討されている。

問 その他、交通利便性の向上策をどう考えているのか。

答市長 三セクによる在来線と福武線、コミバスを含めた二次交通網の整備の中で、福井駅直行バスも必要。また、高速バスの利便性の確保に、JR鯖江駅の東口の設置とともにインターチェンジのターミナル機能も必要。現在策定中の交通ビジョンの大きな課題と捉えている。



市民創世会
空 美英 議員

「動物愛護の観点から」

問 野良猫の苦情等、市に寄せられている件数とその内容は？

答 平成30年4月に鯖江市に隣接する福井市徳尾町に動物管理指導センターが丹南健康福祉センターから独立した形で設置されており、市はその施設に犬や猫などペットの飼育、飼養に関する相談業務や飼養マナーに関する啓発などを委託している。苦情件数は平成30年度で187件。その内訳は、引取り依頼が37件、糞尿等についてが12件、餌やりをする人、飼い主への指導依頼が6件、譲渡希望が57件、その他が75件。

問 福井市、あわら市、坂井市、永平寺町の4市町で「飼い主のない野良猫の不妊、去勢手術一部助成事業」を実施しているが、鯖江市としての対応は？

答 現段階で行政が行う有効な対策としては、譲渡会などにより新しい飼い主を探すことと、不妊去勢手術などの助成を行うことが考えられる。先進地の事例を参考に検討していきたい。





公明党
遠藤 隆 議員

「次世代包括ケアシステムについて」

問 在宅医療と介護連携における資源の把握は。

答 各医療機関に対し、電話番号、診療科、診察時間などの基礎情報のほか、訪問診療等の可否、他医療機関等との連携相談窓口について照会し、医療、介護関係者間で情報共有を行っている。また、薬局、訪問看護、訪問介護、通所介護等の介護サービス提供情報についても市ホームページで公開している。

問 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築は。

答 住み慣れた地域で可能な限り暮らし続けられるよう、夜間、休日、容態急変等の対応、切れ目のない在宅医療・介護の推進を図り、増大する在宅医療のニーズに対応するため、市医師会と連携して体制整備に取り組む。

訪問看護師の不足、急変時の受け入れ病床の確保、みとりの問題、将来的な在宅医師不足に備え、市民が安心して在宅療養生活を送れる体制づくりを推進していく。



市政同志会
佐々木 一弥 議員

「環境にやさしいまちづくり」

問 ごみ焼却施設への負担軽減対策と、ごみ減量化の取組について。

答 新年度は、ダンボールコンポスト事業も継続するが、生ごみ減量の新事業として、生ごみを土壌微生物の働きを利用して、容器内で分解させるトラッシュファミリーやキューロという生ごみ分解処理機で、市民から意見をいただくモニターを募集する。また、可燃ごみの中に資源ごみが約30%含まれている状況なので分別の徹底もお願いしていく。



「ソサエティ5.0社会について」

問 スマート自治体モデル構築事業やOCR／RPA(※1)等を活用した業務自動化事業とは。

答 市役所に来なくても、住民票や税証明書の申請ができるAIチャットボットや、RPAによる自動化処理や紙資料をデータ化し、機械で判断処理できるAI-OCRの導入で業務改善、働き方改革につなげる。

※1

OCR…手書きや印刷された文字を、コンピュータが利用できる文字に変換する技術。

RPA…定型作業を、ソフトウェアで自動化する技術。



公明党
奥村 義則 議員

「SDGs(※2)達成年・2030年の鯖江市の姿は」

問 市長は仮称SDGs推進プラットフォームを整備し、様々なステークホルダーが集い連携する中でSDGsの普及啓発、経済・社会・環境の3側面の好循環を生む取組推進と、将来的には国連関係機関と連携プロジェクトを実施する拠点となるよう環境整備に取り組むとのことだが、2030年の鯖江市の姿をどのように描いているのか。

答 鯖江市が目指す方向は、経済発展と社会的課題の両立。2030年に向け、そのための行動の10年と位置づけ、SDGs No.5の女性活躍とジェンダーフリー、男女共同参画の

平等社会の推進による相乗効果と好循環を期待したい。めがね会館9階にプラットフォームを構築し、国連とのパートナーシップによるコンテンツの集積や、鯖江の女性活躍、めがねの聖地SABAEを国内外に発信していく、SDGs No.5推進に取り組む鯖江市の発展を目指したい。



※2

SDGs…2015年に国連で合意された、持続可能な世界の実現のために達成すべき17のゴールを表したものの。



市民創世会
木村 愛子 議員

「安心なまち、元気なまちづくり」

問 誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりの支援体制は、圏域ごとに状況も課題も違う。圏域ごとの構想を持ち、できるところで進めるべきと考えるが。

答 鯖江圏域は高齢者人口、一人暮らしが最も多く、神明圏域は高齢者二人暮らしの割合が高く、西部圏域は要支援要介護認定率が低いがサロン設置率が低い。東部圏域は、高齢化率、要介護認定率が高く、複数での食事の機会が少ない。そのような機会や、地場産業への従事など活躍の場の提供が必要。地区社会福祉協議会等と連携し生活支援を創出する。

問 文化課は本庁にあり、教育と文化は教育委員会直轄で公共性のある長期的な文化振興を図ることが大切だと考えるが。

答 教育長 長期的な文化振興については、文化課を中心に市民の皆様が文化芸術を鑑賞、創造できる環境づくり、芸術文化の振興は人々を豊かに、社会を元気にする。子どもたちも創造性を育め、直接触れる機会の充実に努める。伝統芸能や無形文化財など保存継承する。文化課の設置場所は、市民の声も聞いていく。



日本共産党
菅原 義信 議員

「いざというとき、鯖江市は職員400人体制で大丈夫なのか」

問 鯖江市は、同規模自治体の中では全国最少の職員数になっている。そのことが、長時間勤務の常態化や病気等で長期休暇を余儀なくされる職員を増やしているのではないかと。市民サービス、災害対応という点でもぜい弱だと思う。職員を増やす方向の検討をすべき。

答 市長 就任以来、財政再建を最大の課題として取り組んできた。その点では、正規職を減らし、臨時職で補ってきた。職員への負担も大きかったと感じている。職員数の適否も検討すべき時期に来ていると思う。

「ジェンダー平等の実現へ向けて」

問 鯖江市が国連の掲げるSDGs、とりわけジェンダー平等の推進を宣言し、女性活躍社会の実現を目指すことには敬意も払い、応援もしていきたいが、ではどう具体的に進めるのか。

答 市長 2030年に向けた数値目標はないが、鯖江市には女性活躍の土壌があり、活躍している女性も大勢いる。そこを市が支援し、どう見える化していくかがカギ。



清風会
林 太樹 議員

「産業政策について」

問 消費増税による景況見通しは。

答 駆け込み需要による需給の減少や仕入れ価格の増加など、大半の企業が横ばいから減少傾向。今後の景況に注意しながら適切な対応を検討する。

問 新型コロナウイルスによる、地域経済への影響と対策は。

答 市内全ての中小企業の資金繰りを支援すべく、総額1億円の緊急経済対策を実施する。

問 インボイス制度導入による小規模免税事業者・フリーランスへの影響と、市の対応は。

答 制度が導入されると、消費税免税事業者は益税がなくなり利益が減少する。零細な免税事業者は取引に不利な状況になるため、廃業が続出するおそれがある。令和5年10月の制度開始に当たり、制度の啓発、周知に努め、準備していく。

問 持続可能な漆器産地の育成方針は。

答 丹南地域の伝統工芸産地の連携で、国の地方創生交付金を活用し、3年間の技能習得、魅力ある商品開発、経営を学ぶ職人塾を開設。若者の後継者養成に努めている。今後は高付加価値化の取組を進め、漆器産地が持続できるよう強力に育成支援に努めて行く。

議案と結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
------	----	-------	------

【2/17提出・同日議決】

議案第9号	令和元年度鯖江市一般会計補正予算(第5号)	総務・産建・教民	可決
議案第10号	令和元年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	教育民生	可決
議案第11号	令和元年度鯖江市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教育民生	可決
議案第12号	令和元年度鯖江市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決

【11/27提出・3/13議決】

請願第5号	老朽原発稼働に関する請願	総務	趣旨採択 (多数)
-------	--------------	----	--------------

【2/17提出・3/13議決】

議案第1号	令和2年度鯖江市一般会計予算	総務・産建・教民	可決(多数)
議案第2号	令和2年度鯖江市国民健康保険事業特別会計予算	教育民生	可決(多数)
議案第3号	令和2年度鯖江市後期高齢者医療特別会計予算	教育民生	可決(多数)
議案第4号	令和2年度鯖江市介護保険事業特別会計予算	教育民生	可決(多数)
議案第5号	令和2年度鯖江市総合開発事業特別会計予算	産業建設	可決
議案第6号	令和2年度鯖江市水道事業会計予算	産業建設	可決
議案第7号	令和2年度鯖江市公共下水道事業会計予算	産業建設	可決
議案第8号	令和2年度鯖江市農業集落排水事業会計予算	産業建設	可決
議案第13号	鯖江市安全・安心防災基金条例の制定について	総務	可決
議案第14号	鯖江市手話言語条例の制定について	教育民生	可決
議案第15号	鯖江市監査委員条例の一部改正について	総務	可決
議案第16号	鯖江市印鑑条例および鯖江市個人番号カードの利用に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第17号	鯖江市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第18号	公益的法人等への鯖江市職員の派遣等に関する条例および鯖江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第19号	鯖江市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	総務	可決
議案第20号	鯖江市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第21号	鯖江市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第22号	鯖江市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第23号	鯖江市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	教育民生	可決
議案第24号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	産業建設	可決
議案第25号	鯖江市勤労青少年ホーム設置および管理に関する条例および公共施設の使用料改定に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第26号	鯖江市営住宅の設置および管理に関する条例等の一部改正について	産業建設	可決
議案第27号	鯖江市水道事業の設置等に関する条例および鯖江市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	産業建設	可決
議案第28号	鯖江・丹生消防組合規約の変更について	総務	可決

陳情第1号	特急「サンダーバード」「しらさぎ」存続のための協議を県に求める陳情	総合交通ネットワーク 構築・まちづくり推進特別	趣旨採択 (多数)
-------	-----------------------------------	----------------------------	--------------

【3/13提出・同日議決】

議案第29号	鯖江市教育委員会教育長の任命について	—	同意
議案第30号	鯖江市教育委員会委員の任命について	—	同意
議案第31号	鯖江市公平委員会委員の選任について	—	同意
市会案第1号	市長専決事項の一部改正について	—	可決
市会案第2号	北陸新幹線福井・敦賀開業後の特急「サンダーバード」「しらさぎ」存続を求める意見書について	—	可決

賛 否

※○…賛成、×…反対、欠…欠席をあらわします。

議員名	菅原義信	玉邑哲雄	水津達夫	末本幸夫	丹尾廣樹	平岡忠昭	木村愛子	遠藤隆	林太樹	石川修	奥村義則	佐々木勝久	帰山明朗	福原敏弘	佐々木一弥	山本敏雄	空美英	大門嘉和	江端一高	林下豊彦
議案																				

【2/17提出・同日議決】

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第9号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第10号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第11号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第12号

【11/27提出・3/13議決】（意見書は提出せず、「趣旨採択」することの賛否↓）

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	請願第5号
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

【2/17提出・3/13議決】

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第1号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第2号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第3号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第4号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第5号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第6号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第7号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第8号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第13号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第14号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第15号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第16号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第17号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第18号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第19号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第20号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第21号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第22号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第23号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第24号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第25号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第26号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第27号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第28号

（意見書は提出せず、「趣旨採択」することの賛否↓）

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	陳情第1号
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

【3/13提出・同日議決】

																					議案第29号
																					議案第30号
																					議案第31号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市会案第1号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市会案第2号

※水津議長は採決に加わっていません。

表紙写真の応募選考について

表紙写真に多数の応募をいただき、ありがとうございました。
応募があった作品の中から、一部を紹介いたします。



渡部 麻美さん



坂本 真鈴さん



田中 渚光さん



※次号(8月25日号)の応募締切は8月3日です。

《第424回 6月定例会日程(予定)》

6月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策関連議案の迅速な審査と、感染拡大防止のため、一般質問や委員会を短縮して開催するなど、通常とは違った日程で開催いたします。また、本会議の傍聴についてはご遠慮いただき、その代替措置として、丹南CATVの議会中継を視聴できる別室をご用意します。

市 議 会 の 日 程		CATV放送予定
5月27日(水)	10時 本会議(提案理由説明)	生放送
28日(木)	休会	18時 再放送(5/27本会議分)
6月 5日(金)	10時 本会議(質疑、一般質問)	生放送
8日(月)	9時30分 常任委員会	—
9日(火)	9時30分 常任委員会	18時 再放送(6/5本会議分)
10日(水)	9時30分 常任委員会	—
11日(木)	9時30分 常任委員会	—
12日(金)	特別委員会(予定)	—
17日(水)	10時 本会議(委員長報告、採決)	生放送
19日(金)	—	18時 再放送(6/17本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会のCATV放送はありません。

編集後記

令和2年度になり初めての議会報になります。毎回、広報委員会にて内容や表記の仕方を検討しております。少しでも見やすく興味を持っていただけるようにとの思いですがいかがでしょうか？

特に今回は新型コロナの影響で皆さん自宅待機されながら、様々な対応等について広報などを見られていると思います。是非、お気付きの点ありましたらご意見お寄せください。

くれぐれも新型コロナにご注意を！

広報委員 石川 修

発行：鯖江市議会 ☎ 53-2249
E-Mail
SC-Gikai@city.sabae.lg.jp

編集：広報委員会

委員長	遠 藤	隆
副委員長	林 下	豊彦
委員	石 川	修
委員	佐々木	一弥
委員	空	美英
委員	江 端	一高